

# 市政に関する地域座談会実施報告書

◇平成24年度 第3回（通算61回） 市消防団第1分団

開催日時	平成24年7月5日（木）午後7時30分～午後8時50分		
会場	ハートフルセンター2階和室	出席者数	20人 (男19・女1)
地域座談会の内容（市長講話・質疑応答の内容等）			
<b>質疑応答</b>			
<p>質問：震災ガレキの受け入れについて、さくらんぼの時期を外して受け入れるという事でニュースになった。関西での反対運動が報道されているが、寒河江では反対の声は上がっているのか。</p> <p>市長：民間事業者が受け入れているのは、県内で10か所余りある。市内事業者アールティックで岩沼市からの木くずを受け入れ、チップ化して米沢市の木質ボード会社でリサイクルすることとなる。事前の放射線量を確認し、事業所内でも再度、放射線量を確認し安全安心を確認しながら進めていくこととなる。地域周辺の説明会でも心配の声も出ているが、市民の安全が一番なので十分検査を行って対処していく。酒田市では東松島市のガレキを焼却する試みを行っているようだが本市の場合は焼却しないで運んでいく。</p> <p>また、側溝汚泥についても、県の基準値をオーバーした箇所が出てきて、敏感になっているようだが、地域住民には丁寧に説明をし、地域の人々が納得して進めていくことが基本である。さくらんぼの風評被害にも配慮し、時期を遅らせて開始した。丁寧な説明で理解を求めていくしかないと思っている。</p> <p>質問：雇用の創出と、住宅団地や子育て家庭への支援は具体的にはどのような施策を行っているのか。</p> <p>市長：雇用創出のため、工業団地を造成し現在誘致活動を積極的に進めている。ヨークベニマルの配送センターとして、(株)ロジティックスが現在工事を進めているが東日本の16店舗の拠点配送施設となり今年の秋開業する。雇用については、50人の従業員の内40人を地元採用とするようだ。他にも交渉中の所が2～3社あり、地震と津波被害の無い地域として震災被災企業がリスク分散のために動いており、国・県・市をあげて条件整備を行い、進捗状況は第4コーナーを回っているが、企業としても地元を見捨てて離れるのかと最後の1歩が踏み出せない状況のようである。今後も粘り強く交渉し、雇用の場を増やしていく努力をする。</p> <p>先日、市の雇用対策協議会を開催したが、高校生の求人も去年に比べるとよくなっており、今後も各企業に求人をお願いし地元に着しても</p>			

らいたいと願っている。

質問：花咲かフェア公園内に大型遊具が設置されて大変良くなったが、地域内の中・小規模の公園では遊具が老朽化し、中には遊具そのものがないところもあり、その辺の整備状況はどうなっているのか。

市長：遊具が貧弱であるとか老朽化しているといったご意見だが、地域いきいき元気づくり事業の補助制度を活用していただきたい。先日も今日も要望が出されたので、中・小公園について遊具の点検等を行いながら、来年度に向けて充実するよう調査を行っていく。

質問：除雪の件だが、今年は大雪のため路面がガタガタして走りづらいところがあったので、もう少し力を入れていただきたい。

市長：除雪については、市内 38 の協力事業者よりお願いしているが、様々な意見を頂いており、よくしてもらったとの意見も貰っている。県道の場合は県で対応となるが、市と県との意見交換会があるので言っただけだと要望しておく。時間的に出勤時間までに除雪が間に合わなかったケースもあるかと思うが、その都度、具体的に言ってもらった方が改善は早いと思う。

質問：本楯から中部小学校に通学する際、ヤマザワ前の道路の歩道が除雪されていないので、子ども達が車道を転倒しながら通学しているのが見られ、危険なので除雪してほしい。

市長：ヤマザワ前の道路は県道なので、県との意見交換会の際、改善するよう要望しておく。

質問：本楯公民館前の消雪道路と市道の交差点部分がなかなか除雪してもらえず段差が生じ、通行不可の状況になるので段差解消してきれいに除雪してほしい。3 回ほど市に連絡してやっとしてもらった。

市長：昨年豪雪でも大分予算を増やしたが、雪が多いのは災害で、災害は克服しなければならない。今後も必要な予算は確保していく。除雪協力会の方々にもお願いをしながら来年に向けた反省としていく。

質問：第 1 分団内の消防ポールの設置に感謝です。

- ①冬期間の除雪は消火活動にも直結するので、きれいに除雪してほしい。
- ②高瀬山の市民浴場から陵南中学校への通学路は街灯もなく、道幅も狭く自転車通学は危険であり、歩道を設置していただきたい。
- ③なか保育所耐震化工事について、今の場所で行うのか、別の場所に移設する計画等あるのか。保護者の送り迎えの際、道路も狭く駐車場も混雑して危ない。
- ④中部小は 32 年経過しており西根小に次いで古い。校舎は耐震化工事を

していただいたが、グラウンドは荒れていて下層部の土がむき出しとなっている。子どもが野球スポ少やっている時など釘が出たりして危ない。体育の授業は大丈夫か。グラウンドをローラーで固めたりしているが、土の入れ替えをお願いしたい。学校にも言ってある。

- ⑤体育施設の整備事業について、屋内運動施設を計画されていると聞いているが、冬期間奪い合いにならないように、面積を大きくとっていただきたい。

市長：①その都度、具体的に箇所を支持していただきたい。

- ②高瀬山の高速の側道については以前から言われており確かに狭く、特に冬場は厳しい。中学校では通学路の認定はしていないが、暗がり解消は何とか検討していきたい。

- ③なか保育所の耐震化については、父兄からは移設の要望も受けているが、移転改築には時間もかかるため、いつ地震が起こるかわからない状況下で、子どもの安全確保が大事であり、既存施設の耐震化工事を進めている。将来的に、7つの保育所の入所者のバランスの問題や全体の枠の中で考えていく必要がある。今、国では幼保一体改革で揉めているようだが、動向を見極めていきたい。

- ④中部小のグラウンドの件は教育委員会に確認して、来年に向けて検討したい。

- ⑤現在、検討している冬期間の屋内運動施設は、文化センターの奥のスペースにテニスコート2面がゆったり取れる規模だが、もっと立派なものをということになると、あそこの場所には収まらなくなる。座談会などを行って検討している段階で、この秋に設計の予算を組み、来年の11月位に完成の計画。いろいろな方々に利用してほしい。

質問：地域を元気にする産業、観光面などで、外国人観光客の誘致や県外へのアピールについてどう考えているのか。

市長：国外にはまず寒河江を知ってもらうことが大事であり、自治体の台湾誘客商談会ツアーに職員を派遣して可能性を探ってもらっており、何とか突破口を見つけたい。台湾チャーター便で、山形に来てもらい月山、慈恩寺等の地域観光資源を活用したツアーが可能かどうか探っている。韓国ではさくらんぼは厳しいと思うが、台湾はアメリカンチェリーが入っているのでさくらんぼに対する抵抗感がないのではないかと思う。紅秀峰の台湾への輸出はあり得る。

風評被害のため、本市の観光さくらんぼ園のお客さんが戻らず、厳しい状況にある。天童や東根と違って、観光果樹園を重視しているのでバスが来ないと影響が大きい。震災の影響で関東の観光客は山梨県に流れている。山梨はさくらんぼにホウトウ等メニューを揃えて5000円の日帰りツアーを組んで人気があるようだ。

我々もさくらんぼだけでなく他の売りを考えて、西群全体の広い範囲で

食文化を発信して交流人口を拡大していくことが専決である。慈恩寺などを含めて考えていかなければならない。北関東がダメなら仙台や岩手、福島に目を向けていかなければならない。